

吹奏太郎

新

新幹線

栃木県吹奏楽連盟

手塚 豊

コンクール雑感より

栃吹連理事長 手塚 豊

揚げ潮の栃吹連を実感することは誠に楽しいことである。

昨年に引き続いて、平成11年度も全日本のコンクールに駒を進めた高校A部門を筆頭にB部門でも、東関東大会金賞受賞団体が並び（コンクール報告参照）各団体の精進が目に見えるようである。

本年度も多くのコンクールに臨み、数多くの好演に接する機会に恵まれたことは、心からありがたいことと思っている。

さて、コンクール雑感であるが、本県の団体の中に誠に惜しいなと思われる演奏がいくつか見られた。それは、慎重で丁寧な演奏のあまり、音楽の流れに淀みが生じ、音楽の勢いと言うか、生氣を失ってしまうことである。多分にこの辺が県の団体の今後の課題になるのではないかと思う。

少々話題がそれるが、最近本県では数多くジョイントコンサートや地区バンドフェスティバルが催されるようになったことは、各団体の交流を深めるとともに他団体の長所を吸収するうえで結構な催しであると思っている。そこで一つ紹介したいのは、宇河地区的スクールバンドフェスティバルである。

それは県内在住の数名の講師を委嘱して「ワンポイントアドバイス」を依頼していることである。貴重な時間とお金を使い、労力を注ぎながら、「ご苦労様でした。」と解散してしまうのでは、何とも「モッタイナイ。」惜しい気がするのである。せっかくの好機をより有意義なものとし、実り多いものとするためにも、この「ワンポイントアドバイス」を受ける方法を是非おすすめしたいものと思っているが、いかがなものでしょう。



【第41回県吹奏楽コンクール結果報告】

（金賞のみ掲載 ☆は東関東大会出場校）

《小学校》 ☆真岡市立真岡小、☆宇都宮市立五代小、☆宇都宮市立清原東小、
☆栃木市立栃木第三小

《中学校A》☆宇都宮市立宮の原中、☆同市立陽南中、☆同市立雀宮中、
☆益子町立益子中、☆足利市立協和中、矢板市立矢板中

《中学校B》☆今市市立今市中、☆宇都宮市立姿川中、☆同市立城山中、
☆茂木町立茂木中、☆大田原市立若草中、真岡市立真岡東中、
石橋町立石橋中、宇都宮市立陽北中、今市市立東原中、
西那須野町立三島中、茂木町立逆川中、宇都宮市立清原中、
今市市立豊岡中、都賀町立都賀中、足利市立山辺中、

- 《高校A》 ☆今市高校、☆宇都宮北高校、☆作新学院、☆真岡女子高校、足利工大付属高校
- 《高校B》 ☆足利南高校、☆足利女子高校、☆矢板中央高校、☆宇都宮東高校、☆宇都宮南高校
- 《一般》 ☆宇都宮音楽集団、☆矢板ウインドアンサンブル、小山市交響吹奏楽団

平成11年度東関東吹奏楽コンクール結果報告

《小学校》 9月12日(日) 茨城県立県民文化センター

- 金賞 真岡市立真岡小、宇都宮市立五代小
 銀賞 宇都宮市立清原東小
 銅賞 栃木市立栃木第三小

《中学校A》 9月25日(土) よこすか芸術劇場

- 金賞 宇都宮市立陽南中
 銀賞 宇都宮市立宮の原中
 銅賞 益子町立益子中、宇都宮市立雀宮中、足利市立協和中

《中学校B》 9月5日(日) 千葉県文化会館

- 銀賞 今市市立今市中 茂木町立茂木中
 銅賞 宇都宮市立葵川中、同市立城山中、大田原市立若草中

《高校A》 9月11日(土) 茨城県立県民文化センター

- 金賞 作新学院高等部 東関東代表として全国大会へ
 今市高等学校 東関東代表として全国大会へ
 銀賞 宇都宮北高校、真岡女子高校

《高校B》 9月26日(日) よこすか芸術劇場

- 金賞 宇都宮南高校 矢板中央高校
 銀賞 足利女子高校
 銅賞 宇都宮東高校、足利南高校

《一般》 9月12日(日) 茨城県立県民文化センター

- 銀賞 矢板ウインドアンサンブル
 銅賞 宇都宮音楽集団

第12回県マーチングフェスティバル結果報告

《パレードコンテストの部》 金賞 作新学院高等部
 銀賞 烏山高校、真岡北陵高校

《フェスティバルの部》 最優秀賞 喜連川町立喜連川小学校
 優秀賞 鹿沼市立北小、藤原町立藤原中

第5回東関東マーチングフェスティバル結果報告

《パレードコンテストの部》 銀賞 作新学院高等部
 銅賞 烏山高校、真岡北陵高校

《フェスティバルの部》 銅賞 鹿沼市立北小学校、藤原町立藤原中学校



下都賀・栃木支部だより

今回は下都賀・栃木支部の活動の様子を報告します。本支部では、毎年6月に楽器別講習会を、7月に吹奏楽フェスティバルを行なっています。

楽器別講習会では、講師の先生方をお招きしてきめ細かい指導をしていただいております。内容は、1年生、2、3年生に分かれての楽器の取り扱い方、基本練習など、さまざまです。昨年は、打楽器の練習の仕方、楽器の選び方などについての話を聞くことができ、私たち指導者にとっても大変勉強になりました。

吹奏楽フェスティバルは、毎年コンクールの前に行なっています。お互いに曲を聞き合えることだけでも有意義ですが、出入りの練習も行なえ、何よりも吹奏楽連盟副会長の藤田先生、石橋中校長の藤尾先生から細部に渡る指導がいただけることは、コンクールにむけて毎年大変心強いことです。お二人の先生には、快く質問に答えていただき、たくさんのこと学ばせていただいております。そこでご指導いただいたことを学校に戻って生徒たちに還元できることはすばらしいことだと思います。また、普段は一人でかかえている指導者の悩みを話し合える場としても楽しみにしております。

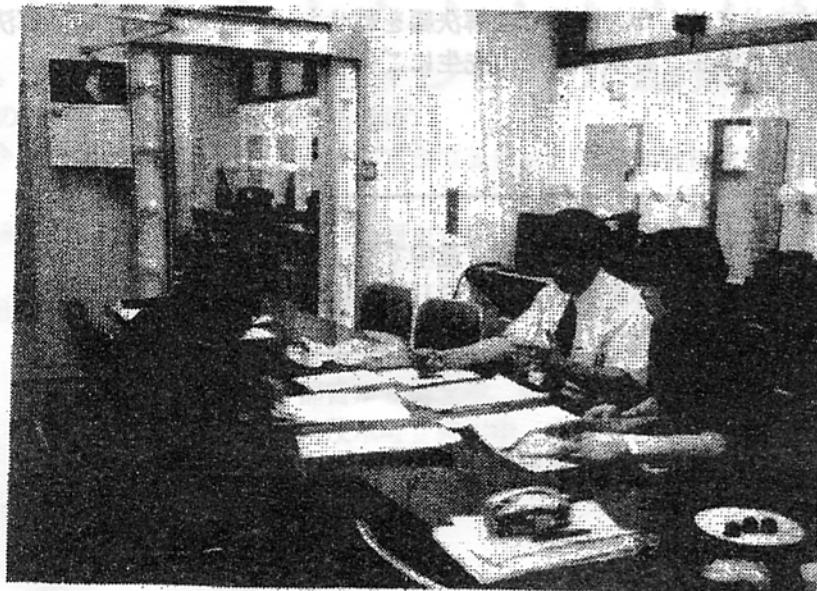
吹奏楽フェスティバルを聞いて

栃木県吹奏楽連盟副会長 藤田 伸夫

この暑さの中、生徒たちが曲の練習に真剣に取り組んできたその成果は昨年に増してレベルアップしたすばらしい演奏でした。

その陰には、先生方の熱心な指導の賜物と頭が下がります。

音楽をする基本は、何といっても「感動する、させること」だと思います。感性を養うには「演奏を聞くこと」だと思います。プロ級の演奏するバンドを聞いて勉強する機会や講習会はかなりあると思います。その機会を逃さず生徒たち、先生方を含めて鑑賞したりして研究することはバンドを向上させるものになると思います。音楽を通して心豊かな人作りをめざしてください。



吹奏楽Q and A

「どうやって指導したらいいの？」

これは、昨年初めて吹奏楽部の顧問になってからずっと思っていること。それだけでなく、悩みはこの1年半で解決はせず、増える一方。指導経験の豊富な先生方はどんな風にご指導なさっているのだろう。聞いてみたい、、、でも、、、。広報部ではそんな悩みを少しでもみんなで解決していこう！とQ and Aコーナーを設けることにしました。今回のアンケートの答えを読んでみて、「みんな同じことを悩んでいるんだ。」とホットしました。でも、だからこそみんなで考えていきたいな。と思ったしだいです。

- ・限られた時間の中でどう能率よく指導にあたったらしいのでしょうか。
- ・勉強の機会がほしいです。
- ・パート、セクションの全体練習をどのように工夫したらよいのでしょうか。
- ・楽器のバランス、音色等、専門ではないので指導がむずかしいです。
- ・なかなか練習時間がとれません。
- ・家庭との両立がむずかしい。
- ・指揮の仕方に悩んでいます。
- ・コンクールの曲はどのように決めたらよいのでしょうか。
- ・1年生の楽器の決め方は。
- ・練習意欲のない生徒の気持ちを変えていくにはどうするか。
- ・他の教室に音がもれてしまう。
- ・いろいろな係（競技）をしているので、全員がそろうことがなかなかできない。（特に小学校）
- ・男子部員がいない。運動部礼讃の傾向がある。
- ・個人で持っている楽器と学校の楽器（古いもの）を使っているので差がでてしまう。
- ・お金がない。楽器が買えない。楽器が直せない。
- ・保護者との関わりはどのようにしたら。

いい解決方法はありませんか。次号では解決編を載せたいと思います。いい解決方法があったら石橋中の坂本先生、野木中の濱口先生にご一報を。

編集後記

アンサンブルコンテストの練習の真っ最中でしょうか。

申し込みは11月18日必着（11月16日の消印有効）です。

次号は下都賀小山支部担当です。